

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

ふろたん通信



2014年 12月 24日 広報センター

No. 6

MT.VICTORIA PROJECT

「会員拡大活動」から、「協力・連携ネットワークづくり」へ

□残念ですが1月に予定していた第3次調査隊遠征は延期になりました

「ふろたん通信」前号（NO.5）の見出しは、「ビクトリア山第3次現地調査隊来年1月に派遣！」でした。それに続く今回の通信 NO.6では、本来ならば、調査隊の壮行会の案内をするはずだったのですが…。やむを得ぬ事情により延期することになりました。

2013年3月のURワンダーフォーゲル同好会の設立40周年記念登山としてスタートした「ビクトリア山プロジェクト」の第1次現地調査隊、NPO法人設立準備室として遠征した第2次調査隊、そして第3次調査隊は、2014年6月のNPO法人ふろんていあタウン工房設立後の最初の調査隊として準備を進めてきただけにチョッピリ残念ですが、12月の山木会（18日）は関係メンバーが集まり、いつものミャンマービールを飲みながらの情報交換懇親会とは少し違った雰囲気の中で、今後の対応策・取り組み方針などが真剣に話し合われました。

そんな訳で、2014年の最終号となる本号（NO.6）は、2014年の活動の中間取りまとめと新しい年を迎えるの取り組み方針を伝える号としてお届けします。

□「会員拡大活動」の中間総括

「ふろたん通信」の創刊号から、NPO法人発足に向けた体制づくりとして広報活動を積極的に進め、会員拡大活動に取り組むことを呼びかけ、8月～10月を体制強化月間として賛助会員の勧誘活動を進めた結果については、通信 NO.5で10月7日現在の状況をお伝えしていますが、その後も皆さんの協力のおかげで会員数は順調に伸びています。

12月22日現在の会員メンバー

「正会員」；室井隆良 瀬川基之 安原昭子 浜崎良治 森田忠志 赤川勉 朝倉正浩 高田睦夫 安村孝志 宮本保宏 鶴見隆志 山本稔（12名）

「賛助会員（個人）」；安田重雄 川添修 岩本善恵 牛久保亮一 小平和司 高橋修司 青柳志郎 迎尚子 岡島史祥 安達哲郎 前澤一雄 鈴木俊明 大墨宗重 森下毅一 長野啓三 田村喜己男 小島正勝 前園耕夫 林和馬 佐藤智哉 桑島義成 高橋美穂 田中俊美 渡邊牧子（24名）

「賛助会員（団体）」；㈱ピース・イン・ツアー（八井麻由美） ㈱アルテップ（荒川俊介）
（有）プラディ・アソシエイツ（深島一郎） 昭和㈱（高木長門） ㈱都市開発リサーチ（菅野雅樹）
㈱ヨシモトポール（柳澤匠）（6社） ※新しく入会した賛助会員の皆様

□2015年の重点目標「協力・連携ネットワークづくり」

会員の拡大と並ぶ大きな課題は、遠いミャンマーの地での調査活動を行う持続的な体制の確立です。NPO法人発足後の総会（6.26）で赤川さんを理事・遠征強化委員長に選任し、遠征調査体制の確立に取り組んできました。赤川さんは第2次の調査隊長、第2次調査はNPO法人「まちナビ倶楽部」との合同チーム編成で実施しました。ニュータウンのまちづくりをナビゲイトしてきた「まちナビ倶楽部」、山麓の村の地域づくりをナビゲイトしようとする「ふろたん工房」、設立当初からの経緯もあり、今後も遠征調査のたびに必ず声掛けをしようという仲です（姉妹団体というか義兄弟団体というか…）そして、このような他の団体との連携強化は持続的な遠征体制の確立には不可欠と考えています。（12月の山木会でもそんなことが話し合われました）

目的を共有できるNPO等団体との協力・連携のネットワークづくりを2015年の重点目標にしたいと思います。

□ふろたんインタビューがスタートします。

2014年8月から始めたホームページの中で準備中だった「ふろたんインタビュー」、関連する分野で活躍されている方々を紹介するインタビューコーナーが年末からスタートします。

ここからも、協力・連携のネットワークの輪が広がっていったらいいですね！

最初に登場いただいたのは、ミャンマーカフェ「ぼれやあれ」の店主安彦隆さんと小野寺有菜さん。ミンガラバーユネスクラブの設立に取り組んでいるお話などを伺っています。

一度ホームページを開いてみてください。きっと「まちナビ倶楽部」に続く「ふろたん工房」の姉妹団体になってくれそうな気がしてきます。それでは、

「皆さま良い年をお迎えください」

